

2024年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中 央	電波の日 総務大臣 表彰	阿部 宗男	個人	アジア太平洋電気通信共同体 2023年世界無線通信会議準備 会合 副議長 元三菱電機株式会社 社会シ ステム事業本部 通信システム事業部 技術統 括	長年にわたり国際電気通信連合及びアジア・太平洋 電気通信共同体において議長等を歴任し、無線通信 システム全般の周波数について多国間の利害関係 を公平な立場で調整し、卓越したリーダーシップを発 揮するなど、我が国のみならずアジア太平洋地域全 体の利益に多大な貢献をした。
中 央	電波の日 総務大臣 表彰	牛島 和夫	個人	九州大学 名誉教授 九州受信環境クリーン協 議会 会長	長年にわたり九州受信環境クリーン協議会会長とし て、地理的に対策が困難な九州の放送受信障害に 対する発生原因の調査と防止の研究に取り組むとと もに、同協議会の円滑な運営に尽力するなど、良好 な受信環境の確保に多大な貢献をした。
中 央	電波の日 総務大臣 表彰	笠貫 宏	個人	早稲田大学 参与 早稲田大学医療レギュラ リーサイエンス研究所 顧 問	携帯電話等の電波利用機器の医療機器への影響の 調査において中心的な役割を果たし、指針策定に寄 与され、その周知啓発に取り組まれるなど、電波利 用機器を安全にかつ安心して使用できる環境の構築 に多大な貢献をした。
中 央	電波の日 総務大臣 表彰	兼松 由理子	個人	桃尾・松尾・難波法律事 務所パートナー	電波監理審議会会長代理として電波及び放送に関 する事項を審議するに当たり、公共の福祉に関し公 正な判断を行うとともに、同審議会の円滑な運営に 尽力するなど、我が国の電波・放送行政の発展に多 大な貢献をした。
中 央	電波の日 総務大臣 表彰	草野 完也	個人	名古屋大学 宇宙地球環境研究所 教授	太陽フレア等が社会に及ぼす影響が懸念される中、 総務省主催の「宇宙天気予報の高度化の在り方に 関する検討会」で座長を務め、宇宙天気予報の在り 方に関する報告書を取りまとめ、宇宙天気現象の周知 広報や対応の高度化などに多大な貢献をした。
中 央	電波の日 総務大臣 表彰	一般社団法人 日本CATV技術協会 総務省福島原発避難区 域 テレビ受信者支援セン ター	団体		平成27年度以降、総務省福島原発避難区域テレビ 受信者支援センターを通じた、原子力災害被災地域 への帰還世帯に対する地上デジタル放送の受信支 援対策により、同地域における地上デジタルテレビ放 送への完全移行に向けた取組に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	浅見 洋	個人	KDDI株式会社 北海道総支社 管理部 専任課長	長年にわたり「e-ネットキャラバン」の講師として、広 大な面積を有する北海道においてあまねくご対応い ただくことにより、青少年及び保護者の情報通信の健 全な利用及びインターネット・リテラシーの向上に多 大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	小塚 莊一郎	個人	学習院大学 法学部 教 授	Web3時代に向けたメタバース等の利活用に関する 研究会の座長として、報告書の取りまとめに尽力し、 民主的なメタバースの実現に関する国際的な議論の 推進に大きく貢献するとともに、放送を巡る諸課題に 関する検討会において取りまとめに尽力し、放送政 策の推進に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	矢戸 常寿	個人	東京大学大学院 法学政治学研究科 教授	プラットフォームサービスに関する研究会の座長として、インターネット上の違法・有害情報への対策等に関わる議論に長年深く尽力し、特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律の改正に多大な貢献をするとともに、デジタル時代における放送の将来像等についてのとりまとめに尽力し、放送法の改正に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	鈴木 邦治	個人	地域情報化アドバイザー (前 一般社団法人 頑張る地域支援し隊 代 表理事)	長年にわたり地域情報化アドバイザーとして地域の情報化に尽力するとともに、デジタル社会を担う若年層のIoT技術者やコンテンツクリエイターの育成に取り組むなど、我が国のデジタル化の推進に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	平野 晋	個人	中央大学 国際情報学部 学部長・教授	AIガバナンス検討会の座長として、専門的な知見の提供だけでなく、AI事業者ガイドラインの策定に向けた取り組みに尽力し、我が国の安全・安心で信頼性のあるAIの社会実装の推進に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	松尾 豊	団体	東京大学大学院 工学系研究科 教授	AIネットワーク社会推進会議の構成員として、AI事業者ガイドラインの策定に向けた検討に尽力するとともに、AI戦略会議の座長として、生成AIに関する幅広い議論を主導するなど、我が国のAI戦略の推進に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	森井 昌克	団体	神戸大学大学院 名誉教授・特命教授	ネットワークセキュリティ、情報理論、暗号理論等に関する研究に従事し、無線LAN国際標準暗号規格であるWEPや、WEPの後継として用いられたWPA—TKIPにおける脆弱性の特定などにより、無線LANのセキュリティ対策の推進に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	岩見沢市	団体		全国に先駆けて、ローカル5G等を活用した自動運転トラクタの遠隔監視制御をはじめとしたスマート農業や、教育・医療など幅広い分野で地域社会DXを推進し、情報通信技術の普及・発展に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	公益財団法人 電気通信普及財団	団体		1984年に設立されて以来、主に情報通信分野における優れた著作や研究論文に対する表彰や、若手研究者及び学生の研究調査に対する援助・助成を行うことで、我が国の電気通信を広く普及・振興・発展させるための多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	一般財団法人 日本財団電話リレー サービス	団体		電話リレーサービス制度の礎を築き、電話リレーサービス提供機関として指定されて以来、公共インフラとして24時間・365日電話リレーサービスを安定的・継続的に供給し、聴覚障害者等のコミュニケーション手段の確保に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中 央	志田林三郎賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	太田 香	個人	室蘭工業大学 教授 コンピュータ科学セン ター長	ミリ波を活用するための、メタサーフェス反射板を用いた無線通信環境の最適化等に関する研究を行い、5GやBeyond 5Gにおける、超高速無線通信の実現に必要なミリ波の有効活用に関して優れた研究成果を挙げ、情報通信の発展に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 功績賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	新 博行	個人	株式会社NTTDコモ 電波企画室 無線標準化推進担当部 長	国際電気通信連合 無線通信部門 第五研究委員会の副議長を2015年から8年間にわたり務められた他、2023年世界無線通信会議では第四委員会の議長を務められるなど、携帯電話技術をはじめ地上系無線通信に関する国際標準化活動において多大な貢献をした。
中 央	情報通信 功績賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	江間 有沙	個人	東京大学 国際高等研究所東京カ レッジ 准教授	インターネット・ガバナンス・フォーラム2023京都会合におけるAI特別セッションを含め、人工知能の国際的なガバナンスの議論に精力的に参画し、広島AIプロセスの成功を含め安心・安全で信頼できる人工知能の実現に向けて多大な貢献をした。
中 央	情報通信 功績賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	園田 道夫	個人	国立研究開発法人情報通信研 究機構 サイバーセキュリティ研究所 ナショナルサイバートレーニ グセンター センター長	SECCON実行委員会事務局長やセキュリティ・キャン プ実行委員を歴任し、現在は情報通信研究機構ナ ショナルサイバートレーニングセンター センター長と して、多数のセキュリティオペレーターやセキュリティ イノベーターを育成するなど、サイバーセキュリティ人 的基盤の確立に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 功績賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	安田 孝美	個人	名古屋大学大学院 情報学研究科 教授	東海地域において、産学官により構成されていた「安 心・安全公共コモンズ東海実証実験協議会」の会長 を務め、住民の安心・安全に役立つ情報基盤の構築 に向けた実証実験を主体的に実施し、Lアラートの実 現につながる検討や実証実験に重要な役割を果たさ れるなど、情報通信の発展に多大な貢献をした。
北海道	電波の日 北海道総 合通信局 長表彰	北沢 祥一	個人	国立大学法人 室蘭工業大学大学院 工学研究科 教授	当局が主催する「令和5年度 地域ニーズに応じた自 営等BWAの高度利用に関する調査検討会」の座長 として、自営等BWAに期待される新たな運用形態の 導入に向けた取りまとめを主導し、電波利用の高度 化、多様化に多大な貢献をした。
北海道	電波の日 北海道総 合通信局 長表彰	独立行政法人国立高等 専門学校機構 旭川工業高等専門学校	団体		全国の高専生を対象とした高専ワイヤレステックコン テスト(WiCON)等に、継続的に提案チームを送り出 すとともに、「北海道起業家甲子園2023」で最優秀賞 を受賞するなど、デジタル変革時代における実践的・ 創造的な人材育成に多大な貢献をした。
北海道	電波の日 北海道総 合通信局 長表彰	Tower Pods(たわーぽっ ず)合同会社	団体		インフラシェアリング事業者として通信鉄塔等の整 備、管理、運用保守を行い、複数の携帯電話事業者 で共有することにより5Gの普及展開を加速化し、条 件不利地域におけるエリア整備に多大な貢献をし た。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局 長表彰	山形 巧哉	個人	合同会社 山形巧哉デザイン事務所 代表	総務省地域情報化アドバイザーとして多年にわたりオープンデータや自治体DXの円滑な導入支援などICTを活用した地域課題解決に尽力し、北海道をはじめ全国の地域情報化の普及促進に多大な貢献をした。
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局 長表彰	山本 哲生	個人	国立大学法人 北海道大学大学院 法学研究科 教授	多年にわたり、「北海道電気通信消費者支援連絡会」の座長として電気通信サービスに関する消費者トラブルの円滑な解決の促進に向けた取り組みを主導し、北海道における消費者保護の推進に多大な貢献をした。
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局 長表彰	株式会社内田洋行	団体		多年にわたり、「高校生 ICT Confernce」の取組に尽力し、青少年の情報リテラシー向上に寄与するとともに、当局主催のセミナーに数多く登壇するなど情報通信技術の発展に多大な貢献をした。
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局 長表彰	一般社団法人 学校地域協働センターラ ポールくしろ	団体		子供達が主体的にプログラミング等のICTを学ぶ場をつくり、新しい時代における地域人材の育成に向けて産学官連携による支援体制を構築するなど地域の情報通信の普及発展に多大な貢献をした。
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局 長表彰	一般社団法人 電子情報通信学会 北海道支部	団体		ICT分野の産学官連携の推進にあたり、当局と連携して定期的な意見交換会を開催し、また電気・情報関係学会北海道支部連合大会での当局の講演の実現に尽力されるなど、多大な貢献をした。
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局 長表彰	北海道石狩南 高等学校	団体		多年にわたり、「情報通信の安心安全な利用のための標語」や「高校生 ICT Confernce」に学校として積極的に取り組み他校の模範となるなど青少年の情報リテラシーの向上に多大な貢献をした。
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局 長表彰	一般社団法人 北海道映像関連事業社 協会	団体		令和6年度で25回目となる「北海道映像コンテスト」を主催するとともに、映像制作講座に取り組むなど、多年にわたり、映像制作人材の育成に寄与し、地域発映像コンテンツの流通促進に多大な貢献をした。
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局 長表彰	学校法人 北海道科学大学	団体		多年にわたり、北海道の学生を対象としたICTビジネスプランコンテストである北海道起業家甲子園に継続的に提案チームを送り出し、ICTスタートアップの創出に向けた人材育成に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北海道	北海道総合通信局長感謝状	猿払村	団体		実践的サイバー防御演習(CYDER)に職員を積極的に参加させるとともに、開催場所として近隣自治体職員の受講を受け入れるなど、地域のサイバーセキュリティの意識向上及び人材育成に多大な協力をした。
北海道	北海道テレコム懇談会会長賞	特定非営利活動法人ポロクル	団体		ICTを活用した利便性の高いシェアサイクルサービスを提供するとともに、AIによる最適化やデータの利活用による安全性向上の検証に取り組むなど多年にわたり都市が抱える社会問題の解決や地域活性化に尽力し、地域情報化の普及・発展に多大な貢献をした。
北海道	「2024年度情報通信の安心安全な利用のための標語」北海道総合通信局長賞	北海道石狩南高等学校	学校部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『確かめて ホントの言葉 デマとウソ』
東北	電波の日東北総合通信局長表彰	園田 潤	個人		複数周波数帯の地中レーダを用いた「超高速シミュレーション技術」に基づいた社会インフラ劣化高精度診断システム」の研究開発成果の技術展開による社会実装に精力的に取り組むなど、電波利用技術の普及発展に多大な貢献をした。
東北	電波の日東北総合通信局長表彰	陳 強	個人		「自律型海上無線機器の導入に向けた調査検討会」の座長として多様な利用ニーズや技術的条件等について取りまとめ、海上無線通信の多様化・高度化など、電波利用技術の普及発展に多大な貢献をした。
東北	電波の日東北総合通信局長表彰	宮城県電波適正利用推進員協議会	団体	会長 尾形 和俊	クリーンな電波環境を創るため多年にわたる電波教室の実施など、正しい電波の利用ルールの周知・啓発活動を行い、電波の適正な利用推進に多大な貢献をした。
東北	情報通信月間東北総合通信局長表彰	青森県立八戸工業高等学校	団体	校長 佐藤 努	電気通信設備の工事担任者等の資格取得に向けた教育に積極的に取り組み多くの合格者を輩出するなど、ICT人材育成に多大な貢献をした。
東北	情報通信月間東北総合通信局長表彰	スピンセンシングファクトリー株式会社	団体	代表取締役 松崎 斉	老朽化が進むインフラ構造物に対しスピントロニクス素子による非破壊検査イメージング技術の研究開発を通じ、簡便・高精度の非破壊検査によるインフラの維持管理が期待できる技術の普及発展に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
東 北	情報通信 月間 東北総合 通信局長 表彰	宮城県丸森町	団体	町長 保科 郷雄	地域の抱える課題の解決に向けオンライン医療相談や母子手帳アプリなど、デジタル技術を活用したサービスを提供することで住民が安心して出産や子育てができる環境の整備に多大な貢献をした。
東 北	東北電気 通信協力 会長表彰	星 隆夫	個人		多年にわたり無線従事者養成課程の講師として積極的に取り組み多くの無線従事者を輩出するなど、ICT人材の育成に多大な貢献をした。
東 北	2024年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」 東北総合通信局長表彰	山形県立 ゆきわり養護学校	学校 部門	校長 鍵水 直子	「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『SNS 優しい言葉を かけようね』
関 東	電波の日 関東総合 通信局長 表彰	中村 英夫	個人	日本大学 名誉教授	「ミリ波帯鉄道関係無線システムの技術的条件に関する調査検討会」において、新たな鉄道無線システムの技術的条件及び周波数共用条件の検討を主導し、報告書を取りまとめるなど、地域の電波利用の普及発展に多大な貢献をした。
関 東	電波の日 関東総合 通信局長 表彰	アイコム株式会社 東京営業所	団体	所長 南部 桂司	自然災害への備えとして、災害対策用移動通信機器の保守管理に努め、能登半島地震においては、被災地へ機器の移送や貸出しを行い、協力的実践的に対応するなど、災害時の情報通信の確保に多大な貢献をした。
関 東	電波の日 関東総合 通信局長 表彰	株式会社JWAY	団体	代表取締役社長 中言 裕之	地域課題である辺地共聴施設への対策をはじめ、放送の送受信の改善に尽力するとともに、ローカル5Gを活用したブロードバンド代替に関する実証事業に協力するなど、地域における放送分野の発展に多大な貢献をした。
関 東	情報通信 月間 関東総合 通信局長 表彰	臼井 純子	個人	オフィス・ウスイ 代表	多年にわたり、競争的研究費である戦略的情報通信研究開発推進事業の評価委員会の委員として、研究開発課題の提案内容や研究開発成果の評価を適正に実施し、情報通信技術の開発と実用化の推進に多大な貢献をした。
関 東	情報通信 月間 関東総合 通信局長 表彰	太田垣 恭子	個人	ANNAI株式会社 代表取締役副社長	地域情報化アドバイザーとして、オープンデータの活用、DXに関する人材育成などの取組を通じて、地方公共団体における情報化推進や職員の意識啓発に尽力するなど、地域の情報通信の普及発展や地域の課題解決に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
関 東	情報通信 月間 関東総合 通信局長 表彰	笹瀬 巖	個人	慶応義塾大学 名誉教授	多年にわたり、競争的研究費である戦略的情報通信研究開発推進事業の評価委員会の委員長として、研究開発課題の提案内容や研究開発成果の評価を適正に実施し、情報通信技術の開発と実用化の推進に多大な貢献をした。
関 東	情報通信 月間 関東総合 通信局長 表彰	丸山 高弘	個人	特定非営利活動法人 地域資料デジタル化研 究会 副理事長	地域の歴史・文化などの情報に係る、デジタルアーカイブの作成や公開を実践し、社会教育やまちづくりに活かすとともに、これらの活動の普及啓発を推進するなど、地域の情報通信の発展に多大な貢献をした。
関 東	情報通信 月間 関東総合 通信局長 表彰	千葉県立 市川工業高等学校	団体	校長 相浦 敦	工事担任者試験の認定学校として、多年にわたり資者教育に尽力することにより、多数の国家試験合格者を輩出するなど、資格者制度の適切な運用や、情報通信基盤を支える人材育成に多大な貢献をした。
関 東	関東情報 通信協力 会長表彰	小宮山 強	個人	公益財団法人 日本無線協会 養成課程講師	多年にわたり、公益財団法人日本無線協会の講師として、通信設備の計画、設計など陸上分野の無線通信業務に従事した経験と知識を活かし、陸上特殊無線技士など、多くの無線従事者の指導育成に尽力するなど、電波利用秩序の維持と発展に多大な貢献をした。
関 東	関東情報 通信協力 会長表彰	堤 啓	個人	公益財団法人 日本無線協会 養成課程講師	多年にわたり、公益財団法人日本無線協会の講師として、海上分野の無線通信業務に従事した経験と知識を活かし、海上無線通信士や海上特殊無線技士など、多くの無線従事者の指導育成に尽力するなど、電波利用秩序の維持と発展に多大な貢献をした。
関 東	2024年度「情 報通信の安 心安全な利 用のための 標語」 関東総合通 信局長賞	常陸太田市立 菅田小学校	学校 部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『スマホより 家族との時間を 大切に』
信 越	電波の日 信越総合 通信局長 表彰	佐々木 重信	個人	国立大学法人 新潟大学 工学部 教授	信越情報通信懇談会電波利用委員会委員長として、無線技術や電波の有効利用に関する各種セミナーを開催するなど、電波利用関係産業の技術力向上と人材育成による産業の発展に多大な貢献をした。
信 越	電波の日 信越総合 通信局長 表彰	成田 一衛	個人	公益財団法人 新潟県健康づくり・ス ポーツ医科学センター センター長	信越地域の医療機関における電波利用推進協議会副会長として、医療機関等への電波の専門家の派遣や、電波利用に関する手引きの周知浸透に取り組むなど、地域医療機関における安全安心な電波利用環境の実現に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
信 越	電波の日 信越総合 通信局長 表彰	株式会社 エフエムしばた	団体	代表取締役 西村 純子	永年にわたり「親子ラジオ工作教室」を開催し、地域の恒例行事として浸透させるとともに、災害時に役立つラジオの重要性や電波の仕組みを伝える活動を継続するなど、地域における電波利用の普及発展に多大な貢献をした。
信 越	電波の日 信越総合 通信局長 表彰	株式会社テレビ松本 ケーブルビジョン	団体	代表取締役会長 佐藤 浩市	槍ヶ岳山頂の厳しい気象条件に耐えうる4K中継システムの開発及び通年運用に成功し、冬季の遭難対策や気象情報収集等への活用が期待されるなど、放送事業の普及発展に多大な貢献をした。
信 越	情報通信 月間 信越総合 通信局長 表彰	山崎 和之	個人	株式会社インフォメーション・ネットワーク・コミュニティ 代表取締役社長	日本ケーブルテレビ連盟信越支部長として、新4K8K衛星放送の普及や自然災害に対する態勢の強化等に取り組むなど、放送事業の普及発展に多大な貢献をした。
信 越	情報通信 月間 信越総合 通信局長 表彰	湯川 高志	個人	国立大学法人 長岡技術科学大学 工学研究院 情報・経営 システム系 教授	信越情報通信懇談会情報通信利用環境委員会委員長として、防災分野における情報通信の利活用やサイバーセキュリティに関する各種セミナーを開催するなど、安全安心な情報通信利用環境整備に多大な貢献をした。
信 越	信越電波 協力会長 表彰	小林 和文	個人	株式会社NHKテクノロジーズ 地域事業本部 東京総支社 長野事業所（ファシリティ技術） SE	永年にわたり、放送局の送信設備の整備や保守管理に従事し、長野県内の放送事業者と連携して、難視聴解消や災害時における放送の確保等に多大な貢献をした。
信 越	2024年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」 信越総合通信局長賞	伊那市立長谷中学校	学校部門	校長 清水 慶一	「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『やめとけよ そのワンタッチ 大丈夫？』
北 陸	2024年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」 北陸総合通信局長賞	富山県立 砺波高等学校	学校部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『「笑」だけじゃ すまされないよ その言葉』
東 海	電波の日 東海総合 通信局長 表彰	大山 慎太郎	個人	国立大学法人 東海国立大学機構 名古屋大学未来社会創造機構 予防早期医療創成センター 准教授	医療機器の位置追跡と稼働状況の可視化をIoTを用いてリアルタイムに把握するデバイスを開発し、病院内の医療機器の最適化を図ることにより、医療従事者の負担軽減及び安全な医療の提供を行うなど、医療における電波利用の普及・発展に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
東 海	電波の日 東海総合 通信局長 表彰	大塚 孝信	個人	国立大学法人 名古屋工業大学大学院 工学専攻知能情報プロ グラム 准教授	医療機器の位置追跡と稼働状況の可視化をIoTを用いてリアルタイムに把握するデバイスを開発し、病院内の医療機器の最適化を図ることにより、医療従事者の負担軽減及び安全な医療の提供を行うなど、医療における電波利用の普及・発展に多大な貢献をした。
東 海	電波の日 東海総合 通信局長 表彰	堀内 豊	個人	一般社団法人 日本アマチュア無線連盟 東海地方本部監査長	多年にわたり、アマチュア無線に関する相談受付・対策指導やアマチュアガイダンス局を活用して運用ルールの注意喚起に尽力するとともに、卓越した指導力と経験で監査指導活動を取りまとめるなど、適正な電波利用環境の維持に多大な貢献をした。
東 海	電波の日 東海総合 通信局長 表彰	あいち自動運転推進 コンソーシアム	個人	会長 大村 秀章	企業・大学・市町村等と連携し、県内各所の公道における自動走行や特定区間での一般客向け自動運転実証を通じて、自動運転の社会実装に精力的に取り組むとともに、イノベーションの誘発による新事業の創出や地域経済の活性化に尽力するなど、地域の情報通信の発展に多大な貢献をした。
東 海	電波の日 東海総合 通信局長 表彰	浜松ホトニクス 株式会社	団体	代表取締役社長 丸野 正	テラヘルツ帯小型半導体光源の性能の向上に成功し、更にテラヘルツ帯リアルタイム分光センシングシステムの研究を通じて医薬材料の製造工程での検査や樹脂の分別技術への実用化の可能性を導くなど、電波利用の普及・発展に多大な貢献をした。
東 海	情報通信 月間 東海総合 通信局長 表彰	都島 國雄	個人	シーシーエヌ株式会社 顧問	岐阜県ケーブルテレビ協議会会長として、加盟各社間の連携を強化し番組の共同制作を通じて番組制作能力の向上や人材育成を行うとともに、日本ケーブルテレビ連盟東海支部法令対応検討委員会委員長として防災対応訓練を企画・推進するなど、ケーブルテレビ事業の発展に多大な貢献をした。
東 海	情報通信 月間 東海総合 通信局長 表彰	春日井市	団体	市長 石黒 直樹	高蔵寺ニュータウンの地域課題である買い物など日常の移動に対する不便の解消に向け、自動運転によるオンデマンド型送迎サービスの運行を実現するとともに、AI配車システムを取り入れた乗合タクシーの実証を行うなど、情報通信を活用した地域課題の解決に多大な貢献をした。
東 海	情報通信 月間 東海総合 通信局長 表彰	下呂市	団体	市長 山内 登	スタートアップ企業と協働し、マイナンバーカードを利用したデジタル身分証アプリ「xID」を活用して子育て世代を対象に乳幼児健診等の案内を送付するデジタル通知サービスを行うなど、地域の情報化や活性化に多大な貢献をした。
東 海	情報通信 月間 東海総合 通信局長 表彰	中部テレコミュニケーショ ン 株式会社	団体	代表取締役社長 中島 弘豊	多年にわたり、インターネットの安心・安全な利用に関する啓発講座である「e-ネットキャラバン」への深い理解と惜しみない協力により青少年のインターネットリテラシー向上に尽力するなど、情報通信の健全な発展に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
東 海	情報通信 月間 東海総合 通信局長 表彰	株式会社テレビ静岡	団体	代表取締役社長 若松 誠	総務省が実施する放送コンテンツによる地域情報発信力強化事業を活用して静岡県の観光や食文化などを海外に情報発信し、当該地域に対する関心・需要を醸成することにより地域の活性化に多大な貢献をした。
東 海	情報通信 月間 東海総合 通信局長 表彰	株式会社TOKAI ケーブルネットワーク	団体	代表取締役社長 鈴木 光速	静岡県内における光ファイバ未整備地域を解消するとともに、水環境デジタル監視システムを三島市に構築するなど、県内の地方公共団体と連携し5GやIoTを活用した地域の活性化や課題解決に多大な貢献をした。
東 海	東海情報 通信懇談 会会長表 彰	飯田 則夫	個人	株式会社NHKテクノロ ジーズ 名古屋総支社 ファシリティ技術部長	多年にわたり、東海・北陸地域のテレビ・ラジオ放送設備の整備と安定運用に尽力されるとともに、卓越した技術力と経験をもって無線技術者を育成するなど、地域における放送の発展に多大な貢献をした。
東 海	東海情報 通信懇談 会会長表 彰	杉田 慎二	個人	新生テクノス株式会社 静岡支店 信号通信部通信課 担当課長	多年にわたり、静岡地区における列車の通信設備の設置や改良に尽力するとともに、豊富な知識と経験をもって多くの若手技術者の育成にあたるなど、鉄道の安定輸送に多大な貢献をした。
東 海	東海情報 通信懇談 会会長表 彰	森永 春二	個人	株式会社 浜名湖国際頭脳セン ター 代表取締役社長	多年にわたり、浜松市の将来を担うICT人材の育成に尽力するとともに、地域住民や観光客の利便性向上を目的に公衆無線LANの整備を推進するなど、地域の活性化に多大な貢献をした。
東 海	東海情報 通信懇談 会会長表 彰	株式会社 大垣共立銀行	団体	取締役頭取 境 敏幸	岐阜県内の複数の地方公共団体と協働でプレミアム商品券の電子化・電子地域通貨を導入し、オンデマンドバスやヘルスケアサービス機能と連携した新たな住民サービスを推進するなど、地域住民の利便性の向上と地域の活性化に多大な貢献をした。
東 海	東海情報 通信懇談 会会長表 彰	焼津市	団体	市長 中野 弘道	行政や民間団体などが有する様々なデータの集積・共有を可能とする「スマートシティYAIZUプラットフォーム」を整備することで、産業や観光・防災のデータを活用した新たなサービスの創出を支援するなど、地域産業の活性化と市民の利便性向上に多大な貢献をした。
東 海	2024 年度「情 報通信の安 心安全な利 用のための 標語」 東海総合通 信局長賞	静岡県立 掛川特別支援学校 御前崎分校	学校 部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『気をつけて 一生消えない その投稿』

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
近畿	電波の日 近畿総合 通信局長 表彰	若林 伸和	個人	神戸大学大学院 海事科学研究科 教授	海難防止を目的として設けた「9GHz帯小型船舶用 固体素子レーダーの規制緩和拡充に関する調査検 討会」の座長を務め小型船舶へのレーダーの普及を 促進するための技術基準の策定に多大な貢献をし た。
近畿	電波の日 近畿総合 通信局長 表彰	兵庫県警察本部 生活安全部	個人	生活安全部長 岡本 圭司	長年にわたり所轄の警察署に対して不法無線局の 取締りを積極的に指揮し当局との共同取締りにおい て大きな成果をあげるなど無線通信の秩序及び電波 利用環境の維持に多大な貢献をした。
近畿	電波の日 近畿総合 通信局長 表彰	和歌山県情報化推進協 議会	団体	会長 佐藤 周	南海トラフ巨大地震の発生に備え長きにわたり当局 と協力し和歌山県内における臨時災害放送局の同 時多数開局のための放送エリアの調査や各地での 運営訓練に推進的な役割を果たすことで県内の大規 模災害に備えた体制づくりに多大な貢献をした。
近畿	情報通信 月間 近畿総合 通信局長 表彰	岡田 典子	個人	京都南この本だいすき の会 代表	長年にわたり「e-ネットキャラバン」の講師を務め青 少年のインターネットの安心安全な利用に多大な貢 献をした。
近畿	情報通信 月間 近畿総合 通信局長 表彰	関西学院高等部	団体	部長 枝川 豊	生徒により組織されたICT委員会によるICT利活用の ルール作りや学内でのSNS講習会の開催を支援す るなど適正なICT利活用に向けた取組を推進し青少 年のインターネットの安心安全な利用に多大な貢献 をした。
近畿	情報通信 月間 近畿総合 通信局長 表彰	豊能町	団体	町長 上浦 登	自治体版スマートシティアプリを活用した住民サービ スの提供を行い地域のQOL向上に寄与するなど情 報通信の発展に多大な貢献をした。
近畿	情報通信 月間 近畿総合 通信局長 表彰	奈良県	団体	知事 山下 真	地域交通の確保のため県内複数の市町村に「デジタ ル交通サービス導入推進協議会」を設置し自動運転 などのデジタル交通サービス実証事業の実施に向け た支援を積極的に行うなどICTを活用した地域交通 の課題解決に多大な貢献をした。
近畿	情報通信 月間 近畿総合 通信局長 表彰	養父市	団体	市長 広瀬 栄	地域課題解決のため健康管理など複数のアプリを連 携した高度な住民サービスの提供を実現するととも に仮想空間上の街「バーチャル養父」を構築し地域 の魅力発信に取り組むなど情報通信の発展に多大 な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
近 畿	近畿情報通信協議会会長表彰	大竹 清敬	個人	国立研究開発法人情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所データ駆動知能システム研究センター 研究センター長	SNS上の投稿や対話の内容から災害関連情報の分析をリアルタイムに行うシステムの開発や被災情報の収集を行う防災チャットボットを企業等と共同開発し災害時の安全確保及び救助活動に寄与するシステムの開発に多大な貢献をした。
近 畿	近畿情報通信協議会会長表彰	柴山 武英	個人	株式会社毎日放送 総合技術局放送運営センター部 次長	多年にわたり放送業務に携わる知見を活かし企業と共同で製品開発を行い伝送路の効率的な運用を実現するとともに周波数の有効活用に繋がる同一チャンネルでの双方向伝送や多段中継伝送を可能とするなど地上波放送の高度化に多大な貢献をした。
近 畿	2024 年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」 近畿総合通信局長賞	神戸学院大学附属 高等学校	学校 部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『SNS 優しさあれば 憂いなし』
中 国	電波の日 中国総合通信局長 表彰	山崎 浩介	個人	元山口放送株式会社 専務取締役	地上デジタル放送の難視対策やFMラジオの整備にあたって、実現困難とされていた同一周波数放送波中継の礎を築くなど、放送分野の発展に多大な貢献をした。
中 国	電波の日 中国総合通信局長 表彰	第六管区 海上保安本部 水島海上保安部	団体	部長 田添 太志	海上における無線通信の重要性を深く認識し、不法無線局を排除するための取締りを積極的に実施し、電波利用の秩序維持に多大な貢献をした。
中 国	電波の日 中国総合通信局長 表彰	国立大学法人 広島大学	団体	学長 越智 光夫	中国地域の他の大学や研究機関に先駆けて5G技術と関連する様々な研究が行える環境を多くの研究者に提供し、地域の電波利活用の発展に多大な貢献をした。
中 国	電波の日 中国総合通信局長 表彰	独立行政法人国立高等 専門学校機構 徳山工業高等専門学校 クリプトクロム4(フォー)	団体	代表者 河島 悠太	耐ノイズ性が高く、かつ、ビームフォーミングが可能な高利得マグネチックループアンテナの研究を行うなど、電波技術の発展に多大な貢献をした。
中 国	電波の日 中国総合通信局長 表彰	倉敷市	団体	市長 伊東 香織	G7倉敷労働雇用大臣会合での電波監視体制の構築や公共安全モバイルシステムの技術的実証に協力され、電波行政に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中 国	電波の日 中国総合 通信局長 表彰	鳥取県水産試験場 鳥取県無線漁業協同組 合	団体	場長 石原 幸雄 代表理事組合長 景山 一夫	漁業無線のデータ通信機能を活用した潮流情報収 集システムを構築し、漁業者への情報提供を行うな ど、電波利用の普及発展に多大な貢献をした。
中 国	情報通信 月間中国 総合通信 局長表彰	島根県	団体	知事 丸山 達也	島根県内市町村への光ファイバ整備の促進やICTの 利活用を推進する施策に取り組むなど、県内のデジ タルインフラ整備、ICTの普及・展開に多大な貢献を した。
中 国	情報通信 月間中国 総合通信 局長表彰	広島県立 尾道商業高等学校	団体	校長 隅田 一	長年にわたり青少年のインターネット・リテラシーに関 する実態調査の実施校として、青少年がインターネット を安全に安心して活用するためのリテラシー指標で あるILASづくりに多大な貢献をした。
中 国	情報通信 月間中国 総合通信 局長表彰	株式会社テレトピア	個人	代表取締役 秋枝 耕一	e-ネットキャラバンの趣旨に賛同し、多数の講座でボ ランティア講師を務めるなど、地域のインターネットの 安心・安全利用の普及促進に多大な貢献をした。
中 国	「中国情報 通信懇談 会」表彰	高際 均	個人	福島大学 地域未来デザインセン ター 特任教授	鳥取県内をはじめ地方公共団体の情報化やDX化を 支援・推進するとともに、大学等と連携し、デジタル 人材の育成やアプリ開発、システム導入を支援する など、地域の情報化に多大なる貢献をした。
中 国	2024 年度「情 報通信の安 心安全な利 用のための 標語」 中国総合通 信局長賞	広島大学附属 福山中・高等学校	学校 部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『「まあいिया」一度の公開 一生の後悔』
四 国	電波の日 四国総合 通信局長 表彰	木村 貞男	個人	香川県電波適正利用推 進員協議会 元会長	多年にわたり電波適正利用推進員として、電波教室 や地域のイベントなどにおいて電波利用に関する相 談や周知啓発活動を積極的に行うとともに、香川県 電波適正利用推進員協議会の会長として電波の適 正利用の推進に多大な貢献をした。
四 国	電波の日 四国総合 通信局長 表彰	長岡 康博	個人	愛媛県電波適正利用推 進員協議会 元会長	多年にわたり電波適正利用推進員として、電波教室 や地域のイベントなどにおいて電波利用に関する相 談や周知啓発活動を積極的に行うとともに、愛媛県 電波適正利用推進員協議会の会長として電波の適 正利用の推進に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
四 国	情報通信 月間四国 総合通信 局長表彰	小田 敬美	団体	愛媛大学法文学部・大 学院 人文社会科学研究所 教授	多年にわたり「四国電気通信消費者支援連絡会」の 座長として電気通信サービスにおける消費者トラブル 等諸問題の解決の促進に尽力し、電気通信サービス における消費者保護の推進や安心・安全なICT利用 環境の構築に多大な貢献をした。
四 国	情報通信 月間四国 総合通信 局長表彰	徳島県立 つるぎ高等学校	団体	校長 濱口 和弥	多年にわたり情報通信技術に関する教育に尽力し、 工事担任者の養成に積極的に取り組み、毎年継続 的に多くの有資格者を社会に送り出すなど地域にお けるICT人材の育成に多大な貢献をした。
四 国	情報通信 月間四国 総合通信 局長表彰	Web×IoTメイカーズ チャレンジPLUS 徳島運営委員会	個人	代表 谷岡 広樹	IoTシステム開発者を目指す若者を対象に、「Web× IoTメイカーズチャレンジPLUSin徳島」を開催し、地 域課題を解決するためのIoT作品を試作するハッカソ ン体験を提供することによって、地域におけるICT人 材の育成に多大な貢献をした。
四 国	四国情報 通信協力 会長表彰	石川 進	個人	公益財団法人日本無線 協会 養成課程 元講師	多年にわたり公益財団法人日本無線協会の講師とし て、これまでの陸上分野における無線通信業務の知 識と経験を生かし、無線従事者の指導育成に尽力 し、地域における電波利用分野の人材育成に多大な 貢献をした。
四 国	2024年度「情 報通信の安 心安全な利 用のための 標語」 四国総合通 信局長賞	高知市立横浜中学校	学校 部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『失うよ その投稿で 親友を』
九 州	電波の日 九州総合 通信局長 表彰	大橋 正良	個人	元福岡大学工学部 教授	長年にわたり戦略的情報通信研究開発推進事業の 地域ICT振興型評価委員を務めるとともに、地域課 題解決のため産学官共同で研究開発を行うなど、九 州地域における情報通信の発展に多大な貢献をし た。
九 州	電波の日 九州総合 通信局長 表彰	株式会社宮崎放送	個人	代表取締役社長 松方 健二	長年にわたり宮崎県下のラジオ放送局が共同制作し て放送する「防災ラジオ特別番組」を通じ、災害時な どにおけるラジオ放送の有用性の理解促進に取り組 み、地域住民の防災意識向上に多大な貢献をした。
九 州	電波の日 九州総合 通信局長 表彰	株式会社 エフエム宮崎	団体	代表取締役社長 黒木 俊郎	長年にわたり宮崎県下のラジオ放送局が共同制作し て放送する「防災ラジオ特別番組」を通じ、災害時な どにおけるラジオ放送の有用性の理解促進に取り組 み、地域住民の防災意識向上に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
九 州	電波の日 九州総合 通信局長 表彰	九州・沖縄「道の駅」 連絡会駅長会	団体	会長 下城 卓也	電波利用環境保護の意義について深く理解し、九州 地域全ての道の駅へポスター掲示をはじめ情報発信 機能を活かしたさまざまな周知広報の支援に尽力す るなど、良好な電波利用環境の維持に多大な貢献を した。
九 州	情報通信 月間九州 総合通信 局長表彰	森戸 裕一	個人	一般社団法人 デジタル トランスフォーメーション 推進協会 代表理事	地域情報化アドバイザーとして、自治体や地域にお けるデジタルトランスフォーメーション推進に取り組 み、自治体における情報化の推進と人材育成に多大 な貢献をした。
九 州	情報通信 月間九州 総合通信 局長表彰	佐伯市	個人	市長 田中 利明	株式会社ケーブルテレビ佐伯と協定を締結して、大 分県佐伯市内全域においてケーブルテレビネット ワークの光化を行うことにより耐災害性の強化を図 り、災害時における安定的な情報伝達の確保に多大 な貢献をした。
九 州	情報通信 月間九州 総合通信 局長表彰	株式会社 ケーブルテレビ佐伯	団体	代表取締役社長 五十川 知典	佐伯市と協定を締結して、大分県佐伯市内全域にお いてケーブルテレビネットワークの光化を行うことによ り耐災害性の強化を図り、災害時における安定的な 情報伝達の確保に多大な貢献をした。
九 州	情報通信 月間九州 総合通信 局長表彰	公益財団法人 ハイパーネットワーク社 会研究所	団体	理事長 村上 憲郎	情報社会のあり方や社会的課題を問う国際会議であ るハイパーネットワーク別府湾会議や、ICTの最新動 向などをテーマとしたハイパーフォーラムを長年にわ たり開催するなど、地域の情報化に多大な貢献をし た。
九 州	九州電波 協力会長 表彰	長崎市 東京テレメッセージ株式 会社 長崎駅周辺まちづくり推 進協議会	団体	市長 鈴木 史朗 代表取締役 清野 英俊 会長 岸本 悟	全国初の取り組みとして防災行政無線を活用した防 災情報配信システムを共同開発し、屋外ビジョンやサ イネージで発信することで、長崎駅周辺の利便性を 向上させるとともに災害時における地域住民や観光 客の安心・安全の確保に多大な貢献をした。
九 州	九州電波 協力会長 表彰	長崎県 長崎県病院企業団 国立大学法人長崎大学 西日本電信電話株式会 社長崎支店	団体	知事 大石 賢吾 企業長 八橋 弘 学長 永安 武 支店長 瀬戸口 浩	長崎県の離島の病院においてローカル5Gを活用し た高速かつ安定的な遠隔診療の環境を整備し、離島 居住者の負担解消や医療格差の縮小を図るなど、医 療分野の高度化に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
九 州	2024年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」九州総合通信局長賞	鹿児島県立 鹿児島中央高等学校	学校 部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『その投稿 生涯消えない「ストーリー」』
沖 縄	電波の日 沖縄総合 通信事務 所長表彰	外間 吉信	団体		電波適正利用推進員として地域住民に対する電波の適正な利用等に関する知識の周知啓発活動に従事するとともに、その卓越した見識と指導力を発揮し、電波利用の秩序維持に多大な貢献をした。
沖 縄	電波の日 沖縄総合 通信事務 所長表彰	沖縄県名護警察署 生活安全課	団体		電波利用環境保護の重要性を深く理解され、名護市内における不法無線局の摘発に積極的に協力し、安心・安全な電波利用の秩序維持に多大な貢献をした。
沖 縄	情報通信 月間沖縄 総合通信 事務所長 表彰	仲本 賢	個人		多年にわたり「沖縄デジタル映像祭」において、応募作品審査会の審査員長を務め、沖縄県立芸術大学学生の作品制作・応募について指導し、多くの作品が受賞するなど、映像祭の継続・発展、及び県内の映像コンテンツ人材の発掘・育成に多大な貢献をした。
沖 縄	情報通信 月間沖縄 総合通信 事務所長 表彰	川満 隆	個人		多年にわたり「eーネット安心講座」の講師として啓発活動に尽力するとともに、沖縄管内のコミュニティ放送のパーソナリティとして、情報リテラシーとモラル向上のための情報を発信するなど、地域における情報通信の利活用に多大な貢献をした。
沖 縄	情報通信 月間沖縄 総合通信 事務所長 表彰	沖縄電力株式会社	団体		多年にわたり、「沖縄デジタル映像祭」において、審査会会場を提供し設営・運用における技術的支援をされるなど、映像祭の継続・発展、及び映像祭を通じ県内の映像コンテンツ人材の発掘・育成に多大な貢献をした。
沖 縄	沖縄電波 協力会長 表彰	一般社団法人 沖縄総合 無線センター	団体		各種無線局の設置場所となる鉄塔を提供し、利用エリアの拡大や維持コストの低減、災害時の通信確保を図るとともに、講演会を開催し無線利用や情報通信の知識の普及に多大な貢献をした。
沖 縄	2024 年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」沖縄総合通信事務所長表彰	那覇市立寄宮中学校	学校 部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『炎上中 叩くあなたも 着火前』